

吾妻山の火山活動解説資料（平成 22 年 3 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

大穴火口の噴気活動はやや高まった状態が続いています。火山性地震はやや多い状況で推移しています。GPS 連続観測では大穴火口を挟む短い基線でわずかな伸びを示す変化が観測されました。火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められませんが、引き続き、火口内では噴気、火山ガスの噴出等がみられますので、警戒が必要です。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

上野寺（大穴火口の東北東約 14km）に設置してある遠望カメラによる観測では、大穴火口（一切経山南側山腹）からの噴気の高さは 50～200m で推移し、噴気活動のやや高まった状態が続いています。

・地震や微動の発生状況（図 4）

火山性地震は昨年 10 月以降、やや多い状況で推移しています。火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 5～6）

広域の GPS 連続観測では、大穴火口を挟む高山 - 一切経山の基線④で、2009 年末からわずかな伸びを示す変化が観測されました。それ以外の基線では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

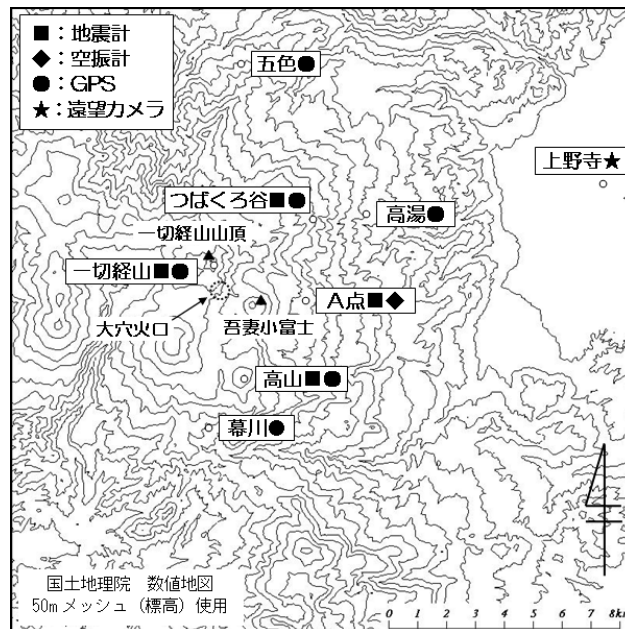


図 1 吾妻山 観測点配置図

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 4 月分）は平成 22 年 5 月 11 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図 2 吾妻山 大穴火口からの噴気の状態（3月19日09時16分頃）
 福島市上野寺に設置した遠望カメラによる（大穴火口から東北東約14km）。
 大穴火口からの噴気の高さは200m。

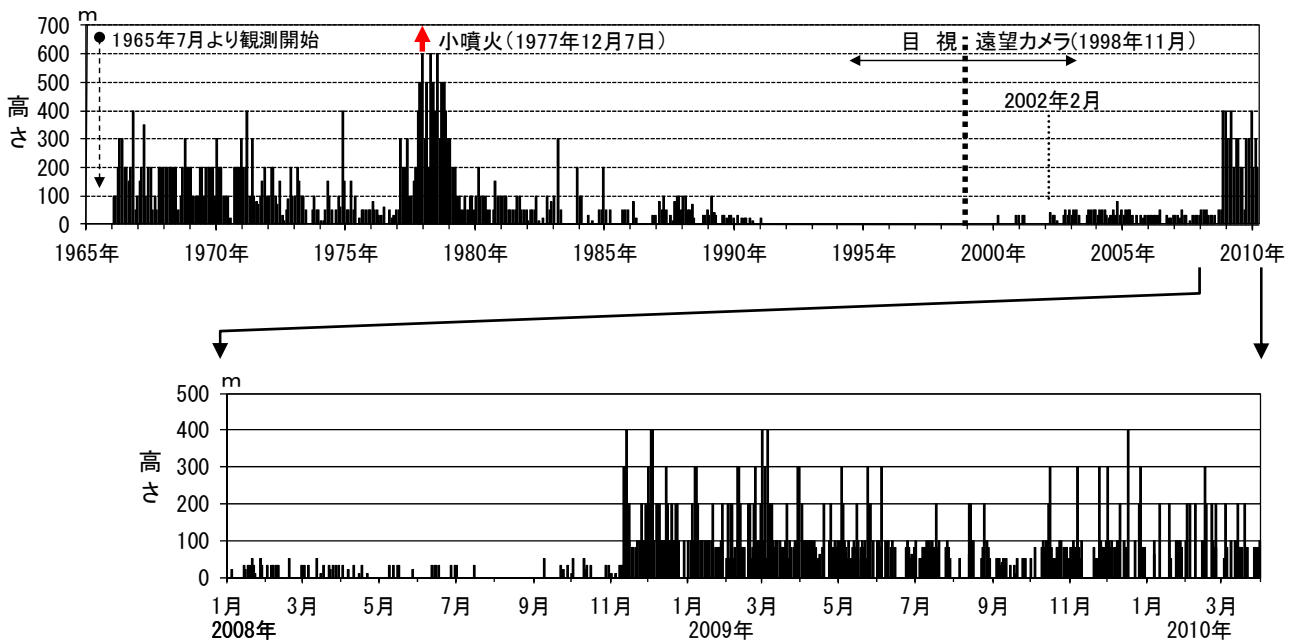


図 3 吾妻山の噴気の高さ 上段：月別最大噴気（噴煙）高（1965年7月～2010年3月）
 下段：日別最大噴気高（2008年1月～2010年3月）

1998年以前は福島地方気象台（大穴火口の東北東約20km）からの目視観測です。
 1998年から遠望カメラ（大穴火口の東北東約14km）による観測です。
 2002年2月以前は定時（09時、15時）及び随時観測による高さです。
 2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。

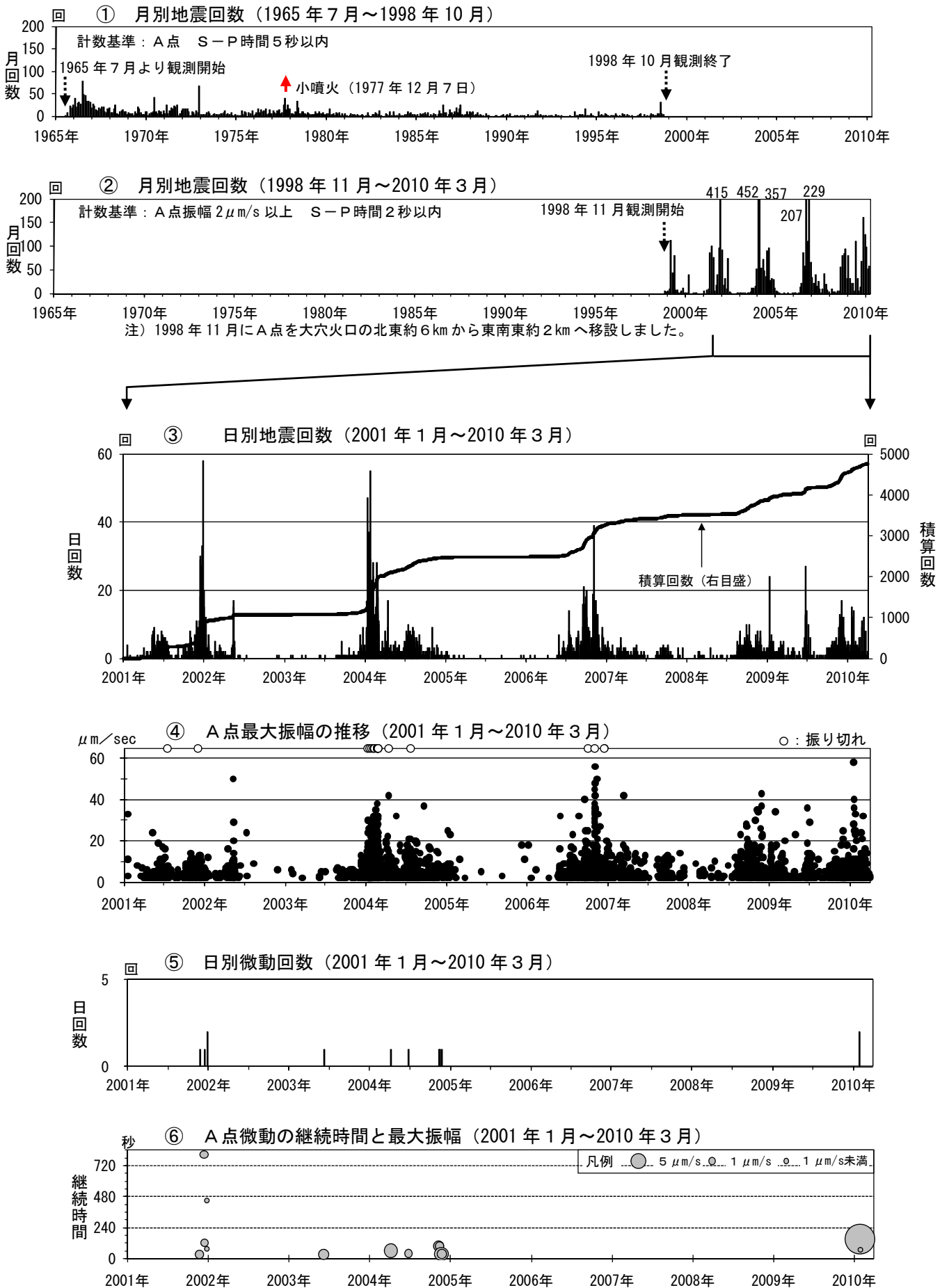


図4 吾妻山 地震活動経過図

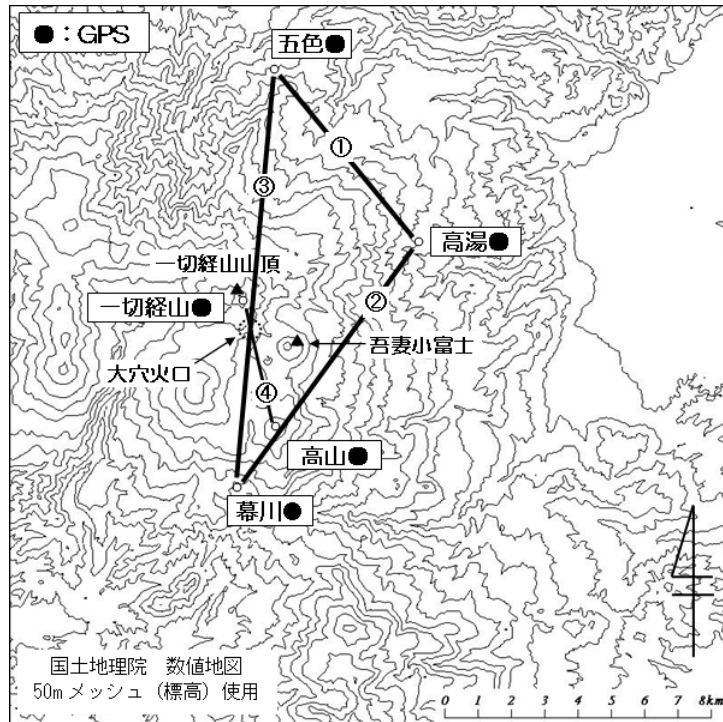


図5 吾妻山 GPS 観測点配置図

GPS 基線①～④は図6の①～④に対応しています。

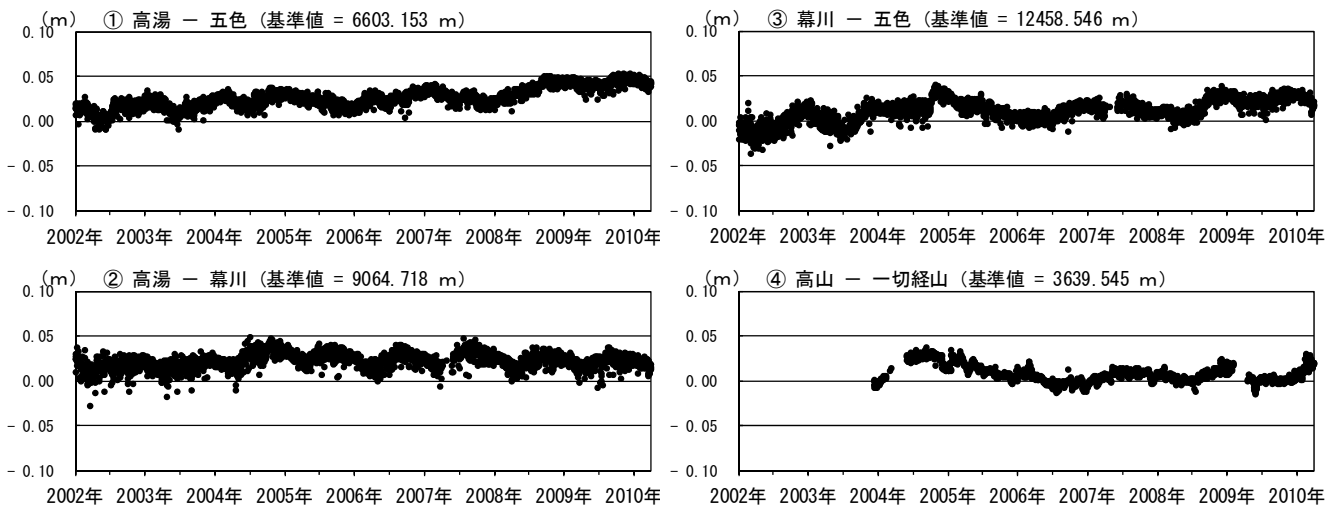


図6 吾妻山 GPS 基線長変化図（2002年1月～2010年3月）

①～④は図5のGPS基線①～④に対応しています。

幕川観測点と高山観測点が障害のため、一部に欠測があります。